



東北防衛局では、日米の相互理解を深める取組みとして、在日米軍関係者と地域の住民の方々がスポーツ、文化などを通じて交流を行う「日米交流事業」を開催しています。

令和6年7月8日（月）、つがる市立車力小学校の児童と米陸軍車力通信所の軍人等が、かかし作りを通じて交流を行う「日米交流かかし作り交流プロジェクト in つがる2024」を開催しました。

日米の参加者25名（小学生18名、軍人等7名）は、混合5チームに分かれ、児童が事前に準備した「かかし」のイラストを基に、日本語と英語を交えながら、イメージに近づけるべく協力しあって、骨組みに縄や藁を巻き付けかかし本体を制作。浴衣を着せてお面や小物などで装飾して、2時間ほどで個性豊かな「かかし」を完成させました。

参加者からは「アメリカ軍の人たちのアイディアを取り入れながら、面白いかかしを作ることが出来た。」「子供達とかかし作りが出来てとても楽しかった。コンテストでは、私たちのチームが1番になれると思う。」などの感想が寄せられました。

今回制作した「かかし」は、7月9日（火）～30日（火）までの間につがる市北消防署に展示するほか、8月1日（木）～21日（水）までの間につがる市役所庁舎に展示してコンテストを行い、来場者の人気投票で優秀作品を決定します。

東北防衛局は、在日米軍と地域住民の方々の相互理解の一助となるよう、今後も様々な形で活動してまいります。



【チーム1制作の様子】



【チーム1完成】



【チーム2制作の様子】



【チーム2完成】



【チーム3制作の様子】



【チーム3完成】



【チーム4制作の様子】



【チーム4完成】



【チーム5制作の様子】



【チーム5完成】